

令和3年度

令和4年1月31日

学校だより



かもいのなかま 一人じゃないよ!

夢に近づけ 今、鴨居がいいカモ!

横浜市立鴨居小学校

電話 045(931)2062

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamoi/>

なりたい自分になるために

副校長 永島 裕美

2月4日に開幕する北京オリンピック。多くの選手が出場する中で、私が最も注目しているのは、オリンピックのフィギュアスケートで2連覇を果たした羽生結弦選手です。演技の美しさはもちろんのこと、彼の考え方、発する言葉にも魅力を感じています。

彼がトップアスリートになれた要因の一つに、子どもの頃から書き続けているノートの存在があると知りました。「発明ノート」と名付けたそのノートには、毎日の練習で気が付いたこと、考えたこと、コーチに言われたこと、その時の気持ちや決意などを書いているそうです。あるテレビ番組のインタビューでは、「調子が悪くて何が何だか分からなくなったときに、昔の自分の言葉を見て頑張っています」と答えていました。

羽生選手が「発明ノート」に書いたり、書いたことを振り返ったりすることを続けてきて身に付けたことは、学校教育で行っている特別活動で育成を目指す資質・能力の一つと重なります。それは、自分に合った目標や具体的な方法を意思決定し、なりたい自分を目指して行動するという自己実現を図る力です。

自分の現状を知り、なりたい自分の姿を思い浮かべて具体的な目標を設定し、日々実行していく。そして、時々振り返ってどこまでできたか、またはなぜできなかったかを確認し、目標を見直して実行に移す。そして振り返る…。これを粘り強く繰り返していくことで自己実現を図る力が身に付いていきます。

新年の廊下や教室には、子どもたちの今年の目標が掲示されていました。「字をていねいに書いてきれいな字が書けるようになる」「人の話をしっかり聞く」「下の学年のお手本になるように生活する」など。きっと目標をじっくり考えたことで、今の自分と向き合い、課題に気付くこともできたのではないのでしょうか。思い描いた自分の姿が現実のものとなるよう、この一年、自分の目標や決意を心に刻み、時々振り返りながら生活していったらいいです。応援しています。保護者や地域のみなさまも、子どもたちが目標に向かって励む様子を温かく見守っていただけたらと思います。